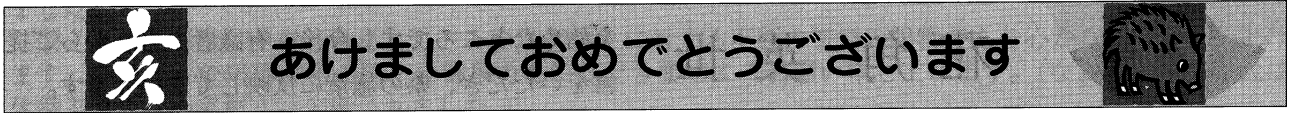


第204号

発行所 新潟市中央区新光町15-2
新潟県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会
TEL 025-285-3490
発行者 理事長 小林 純 男
編集者 事務局長 大島 進 三
印刷 (株)ハイグラフィック



迎春



昨年中は大変お世話になりました
本年もよろしくお願い申し上げます

平成31年 元旦

〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 県公社総合ビル内
公益財団法人 新潟県危険物安全協会

- 理事長 小林 純 男
- 副理事長 中西 一 則
- 副理事長 北原 和 夫
- 副理事長 金子 彰
- 専務理事 大島 進 三

新年のごあいさつ



公益財団法人
新潟県危険物安全協会
理事長

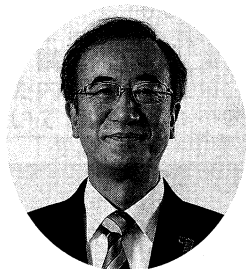
小林 純 男

新年、明けましておめでとうございます。
新潟県危険物安全協会会員事業所の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
昨年を振り返りますと平昌オリンピック・パラリンピックを始めとしてサッカーワールドカップなど興奮と感動を堪能させていただき2020年の東京の開催を今から楽しみにしているところですがスポーツの世界にも存在する諸問題でも注目を浴びた年といえると思います。
また、アメリカにおける中間選挙では上院と下院のねじれが生じ今後の政治や経済の動向には注目せ

ざるを得ないといえます。
そして北海道胆振東部地震で北海道道内がブラックアウトしてしまったり、西日本豪雨という想定外の状況が起きてしまったりなど自然災害は忘れた頃でなく確実に起きるものと認識せざるを得ません。
さて県内の危険物施設の事故件数は横ばい状況ではありますが、施設の減少を考えますとまだまだ取り組む余地はあると思われます。事故の発生内容としては流出事故が全国と比較して倍近くの高い発生率で推移しています。人間は誰でも失敗するものであり危険物の取扱に関するものであれば処置の遅れが重大な事故に繋がりがかねません。
万一に備え従業員間の知識や技能を伝承しつつ日常点検をより強化しマンネリ化を防ぎ腐食や劣化の前兆を見逃さないなど安全確保に心がけていただきたいと思います。
最後になりますが本年も皆様方のご多幸とご健康をお祈りすると共に、当協会への変わらぬご協力をお願い致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》
お申し込みの参考にしてください。

新春知事ごあいさつ



新潟県知事

花角 英世

平成31年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

公益財団法人新潟県危険物安全協会並びに各地区支会・地区協会の会員の皆様には、日ごろから危険物の保安の確保にご尽力いただき、改めて感謝を申し上げます。

昨年6月、県民の皆様から信任を頂き、新潟県知事に就任いたしました。知事就任後、初めての新年を迎え、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を目指す姿として、「県民最優先」の県政を実現していく決意を新たにしております。

昨年暮れに、この目指す姿を基本理念として掲げた、県政の最上位計画である新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」の見直し素案を公表し、県民の皆様からご意見を頂戴したところです。今後、皆様からのご意見や県議会での議論を踏まえて検討を重ね、年度内を目途に成案を公表し、計画を着実に推進してまいります。

昨年を振り返ると、2月に平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが、また妙高市で新潟妙高はね馬国体が開かれ、本県出身選手の皆様が持てる力を発揮して活躍する姿は、私たち県民のみならず全国に勇気と感動を与えてくれました。3月にはピーチ・アビエーション株式会社が新潟空港と関西国際空港を結ぶ路線を開設し、大阪伊丹線と合わせてさらに利便性が高まったことで、新潟と関西圏との一層の交流拡大が期待されています。そして、7月から9月に越後妻有地域で開催された「大地の芸術祭」には、過去最高の54万8千人が来場し、広大な里山を舞台にした現代アートの祭典に熱い注目が集まるなど、本県を元気にする話題もたくさんありました。

一方で、全国各地で地震、豪雨災害、暴風雨・高潮災害など「数十年に一度」と言われる大規模な自

然災害が頻発し、危機感を持たれた方も多いと思います。このような状況を踏まえ、先般、本県の防災・減災対策の強化に向けて、ハード対策とソフト対策のそれぞれの分野において検討会議を設置し、議論を始めたところです。今後、有識者の方々からご提言をいただき、県の施策に反映してまいります。

県では、県民が安全に安心して暮らせるよう、貴協会と共に「危険物実務研修会」を開催するなど、危険物事故の発生防止の取組を推進しているところです。

全国的に危険物施設数は漸減傾向にありますが、危険物に係る事故件数は、むしろ増加傾向にあり、本県も同様な状況です。

貴協会会員の皆様におかれましても、これまでも増して危険物施設の保安管理の充実・強化に努められ、事故の未然防止について徹底されますよう更なるご尽力をお願いする次第です。

今年の新潟県は、国内外から多くの方々をお迎えする「交流の舞台」となります。5月に新潟市で「G20新潟農業大臣会合」が開かれ、9月から11月の「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」では県内各地で様々な文化イベントが開催されます。そして10月から年末には、「日本海美食旅（ガストロノミー）」をテーマとした「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」が行われます。いずれの場面においても、本県の魅力を十分にお届けできるよう、関係者の皆様と共に取組を進め、さらなる交流拡大につなげていきたいと思っております。

私は就任時に、できるだけ地域に足を運び、県民の皆様様の様々な声に丁寧に耳を傾け、積極的に対話を行うことを基本姿勢として県政運営に取り組むということをお願いしました。就任から半年間、市町村長との懇談会や車座トーク等、地域の様々な方々との意見交換を通じて、県政課題についての状況把握に努めてきたところです。今後も、国や市町村と協力しながら、県政の様々な課題に一つ一つ真摯に向き合い、全力で県政運営に取り組んでまいります。

結びに公益財団法人新潟県危険物安全協会の会員皆様様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

第32回新潟県保安大会開催（優良事業所等の知事表彰）

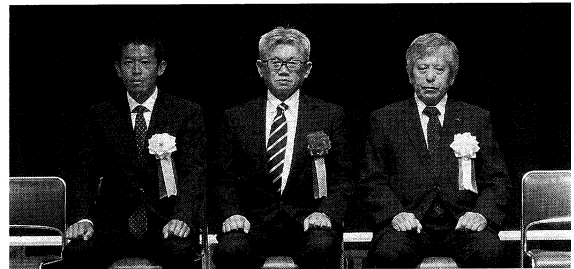
新潟県と新潟県保安関係団体協議会（構成6団体）の共催により、平成30年10月30日（火）に、第32回新潟県保安大会が新潟県知事（代理：溝口洋副知事）出席のもと、県議会議長、県警察本部長、県消防長会会長（新潟市消防局長）を来賓に迎え、大会関係者約140人が参加して県庁講堂で開催されました。

「大会宣言」を採択した後、表彰式が行なわれ、当協会からは、有限会社米又商店（代表取締役 山崎直子 小千谷地区支会）が優良事業所として、水野武氏（株式会社ナビック所属 新潟地区支会）、渡邊庄平氏（有限会社東部石油店所属 上越地区支会）が優良従事者として、それぞれ新潟県知事表彰の栄誉に輝きました。

栄えある表彰は、受賞されました方々の災害防止に対する不断の努力の賜物であり心からお慶び申し上げます。今後とも危険物災害の防止に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。（なお、渡邊庄平氏は体調不良のため表彰式は欠席されました。）



溝口洋副知事を囲んでの記念撮影



左から山崎直子氏（代理 山崎努氏）、中西一則副理事長、水野武氏

表彰式終了後、「砂の町・新潟の楽しみ方」という演題で、「路地連新潟代表」・「日和山五合目」館長 野内隆裕氏の記念講演がありました。

2年前に放送された「プラタモリ 新潟は砂の町」に案内人として出演された講師は、その際に出てきた砂丘列の話、その間にある鳥屋野潟の親松排水機場の役割、新潟の中心である古町地区の鍋茶屋、本町地区の人情横丁の話をされました。

また、港町新潟では信濃川に並行している路地を「通り」、直交する路地を「小路」と呼ぶが、これは同じ港町だった沼垂でも同様であること。「路地連新潟」が元々は街歩きの仕組みを作るグループだったが、市の関心と呼んだこともあり、地図・案内板の整備や街歩き（路地）のガイドマップの作製（本町、古町など6箇所）・案内人の養成と活動範囲が広がっていったことなどを話されました。

最後は、官民一体で再興に取り組んでいる日和山で奥さんが経営しているカフェの話をするなど、大変楽しいご講演でした。

賛助会員の御紹介 ～賛助会員募集中～

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会等を通じて防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会ではこの目的に賛同し、活動に協力してくださる賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には「協会だより」等をお送りするほか、ホームページ及び協会だよりでご芳名等を紹介させていただきます。

また、賛助会費は寄附にあたり、税制上の優遇措置もあります。詳細は当協会のホームページをご覧ください。

現在の賛助会員の内、法人会員は左の2社（五十音順、敬称略）です。

(有) エステック

〒950-2023

新潟市西区小針1502番地3

電話：025-230-7007

Fax：025-230-7009

地下タンク等定期点検認定事業者

移動貯蔵タンク定期点検認定事業者

(有) オイルメンテナンス新潟

〒950-0063

新潟市東区上王瀬町1番50号

電話：025-279-0050

Fax：025-279-0051

地下タンク等定期点検認定事業者

<http://e-abura.jp/>

DVDをお貸しします!! ～社内教育にお役立てください～

地区支会・地区協会の会員の皆様に、（一財）全国危険物安全協会が平成21～28年度の「危険物取扱者保安講習会」用に作成したDVDを貸し出いたします。

DVDのリストやお申し込み方法など、詳しくは当協会のホームページの「DVD貸出のご案内」をご覧ください。

危険物実務研修会を新潟、上越の2会場で開催

当協会が新潟県危険物事故防止連絡会と共催している危険物実務研修会を、11月29日(木)に上越市「上越人材ハイスクール」、11月30日(金)に新潟市「新潟県自治会館」で開催いたしました。

開会にあたり、上越地域消防事務組合消防本部蓑輪予防課長（上越会場）、県防災局消防課南課長補佐（新潟会場）からご挨拶をいただいた後、消防課予防係の水上専門員、危険物保安技術協会 事故防止調査研究センターの山田総括調査役から御講演をいただきました。いずれも大変有意義な内容でしたが、特に山田氏からは、危険物事故が発生した際に消防機関が作成し消防庁に報告する「危険物に係る事故及びコンビナート等特別防災区域における事故の報告」の精査、分析を通じて得られた深い知識を基に、事故の発生メカニズムと防止対策を解り易く説明していただきました。

両会場合わせて205名が熱心に受講されており、貴重な教訓と情報を得て、今後、各事業所が率先して流出事故防止対策等に取り組んでいくことが望まれます。

両氏の講演の主な内容は、以下のとおりです。

1 水上正芳氏 「県内の危険物事故の概要について」

全国の危険物施設の事故統計をみると、新潟県では「火災事故」の発生率は少ないものの「流出事故」の発生率は極めて高く、全国のおよそ2倍となっている。県内の統計から、特に地下配管は30年を経過すると流出事故が非常に多くなるので、先手を打った詳細点検、更新が望まれる。消防庁では事故総件数が減少しないことから、「重大事故の発生防止」を目標としたが、そのためにはやはり軽微な事故を防止していくことの積み重ねが重要である。

この1年間に次のような特徴的な事故が発生した。

- ・道路下に埋設された送油管のエア抜きノズルから灯油が流出した事故
漏れの点検後、エア抜きノズルの閉止バルブの不完全な閉止と当該ノズルのエンドプラグが緩んでいたため流出した。漏れの点検終了後の確認を点検業者、設置者が共に怠ったため、不備を発見出来なかった。
- ・移動貯蔵タンクへ灯油を充填中に流出した事故
移動貯蔵タンクの上部注入口から注入管を使用せずに灯油を注油したが、運転席の伝票を探すため3～4分その場を離れている間にノズルがマンホールから外れ、そのままノズルから送油され続け、灯油約790リットルを流出させた。

2 山田實氏 「危険物施設の事故事例と流出事故防止対策について」

流出事故の原因の3分の1が腐食疲労等劣化であることから、発生すると影響が大きくなりやすい屋外貯蔵タンクと事故例が多い埋設配管について図と動画を交えて解説された。

屋外貯蔵タンクの腐食しやすい部位は底板の内面と外面、保温タンクの側板外面で、底板内面の対策は定期的な水抜き、開放検査、コーティングがあり、保温タンクの側板外面の対策は保温材に浸入した雨水等の排水口の設置等がある。

また、埋設配管の腐食は通気差、異種金属間、異種土壌間、コンクリート・土壌マクロセルに代表されるメカニズムによる事故例が多く、設計や施工に際して十分配慮する必要があり、既設管については早期発見のための常時点検システムの導入や配管の樹脂化がある。

また、腐食疲労等劣化による損傷事故例として浮き屋根の沈没事故とその原因が紹介された。

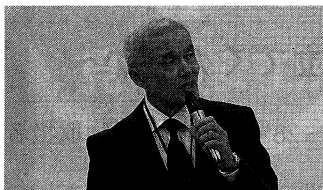
老朽化による流出事故を未然に防止するためには、法令で必要とされる検査の他に施設の老朽化の状況を評価し、事故事例やコスト等を総合的に判断し、必要に応じて詳細な検査を行い、その結果を基に必要な補修や更新を実施することが重要である。



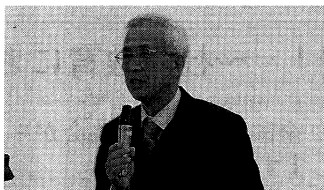
南 直樹 氏



蓑輪 和彦 氏



水上 正芳 氏



山田 實 氏



研修会場全景（新潟会場）

降雪や風水害、台風による被害が発生しています。 風水害に備えて事故を無くしましょう！

新潟県防災局消防課

昨年は中国・四国地方を中心とした豪雨や台風21号等の大規模な風水害が相次いで発生し、危険物施設においても、浸水、土砂流入、強風等による被害が発生しました。

新潟県では、これから本格的な降雪の時期を迎えます。昨年も屋根からの落雪による配管の破損や積雪による破損事故が発生しています。

降雪や風水害による被害を軽減するため、以下のことに留意し、事故の未然防止に努めてください。

○ 降雪における危険物保安上の留意事項

- 1 屋根等上部から落雪や多量の積雪の可能性のある場所での配管等にはその衝撃や荷重に耐えられるガードや補強を施す。
- 2 ボールコック等レバーで開閉するものは、上部からの落雪が当たっても閉止（安全）側にレバーが動く等、取り付け角度を考慮する。
- 3 屋外で液体の危険物を貯蔵又は取扱う施設では、排水溝に雪が溜まらないよう、適時排雪をして、その機能を維持する。

○ 風水害発生時における危険物保安上の留意事項

1 事前の備え

- (1) 計画的な操業の停止や規模縮小、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等に関する判断基準や実施要領を策定しておく。
- (2) 停電時においても温度や圧力等の管理を継続することが必要な物品については、自家発電設備等のバックアップ電源を確保する。
- (3) 下記2の応急対策について、従業者等の教育訓練を行う。

2 風水害の危険性が高まった場合の応急対策

- (1) 土のうや止水板等により危険物施設内への浸水や土砂流入を極力防止する。
- (2) 配管の弁やマンホールを閉鎖し、危険物の流出を防止するとともに、タンクや配管への水や土砂の混入を防止する。
- (3) 禁水性物質や溶融高熱物など、水と触れると危険な物品については、高所へ移動する、水密性のある区画で保管する、溶融高熱物の加熱をあらかじめ停止して十分温度を下げる等の措置を講ずる。
- (4) 屋外にある容器及びコンテナは、流出防止のため、高所へ移動する、ワイヤーや金具で相互に緊結する、重いものを下方に積む等の措置を講ずる。また、移動タンク貯蔵所についても、高台等への移動を実施する。
- (5) 飛来物により配管等が破損した場合における危険物の流出を最小限にするため、配管の弁等を閉鎖する。
- (6) 屋外にある容器及びコンテナは、転倒防止のため、ワイヤーや金具で相互に緊結する、

重いものを下方に積む等の措置を講ずる。

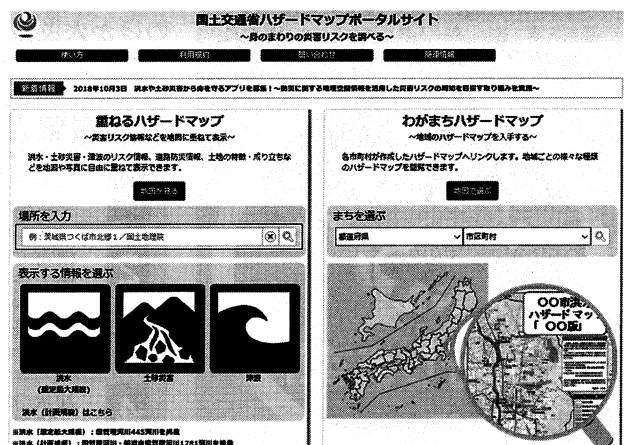
- (7) 長時間の停電に備え、危険物の製造や取扱いをあらかじめ停止しておく。
- (8) 温度や圧力等の管理を継続することが必要な物品については、自家発電設備等により所要の電力を確保する。
- (9) 浸水等に伴い、大規模な爆発など周辺に危害を及ぼす事態に至る可能性がある場合には、速やかに消防機関等への通報を行う。
- (10) 上記の対策を講じるに当たっては、従業者等の避難安全を確保することが必要であり、十分な時間的余裕をもって作業を行う。

3 天候回復後の点検・復旧

- (1) 点検を行い、必要な補修を施した後で再稼働を行う。特に、浸水した施設では、電気設備のほか、危険物を取り扱う設備や配管も損傷している可能性があるため、目視点検だけでなく、作動状況や気密性、危険物への水の混入状況等について確認を実施する。また、台風等による強風や大雨に見舞われた浮き屋根式屋外タンク貯蔵所の点検・復旧については、「浮き屋根式屋外タンク貯蔵所の保安対策の徹底及び応急措置体制の整備について」（平成25年7月31日付け消防危第141号・消防特第154号）を参考として対応する。
- (2) 電力復旧時の通電火災や漏電の防止のため、危険物施設内の電気設備や配線の健全性を確認する。

4 ハザードマップによる事前の確認

危険物施設が浸水地域に該当するかは新潟県が公表している洪水浸水想定区域図、各市町村が作成した洪水ハザードマップ、国土交通省ホームページ「重ねるハザードマップ」等により確認してください。



参考：平成30年9月27日付け消防危第179号消防庁危険物保安室長通知

三市北蒲原地区支会

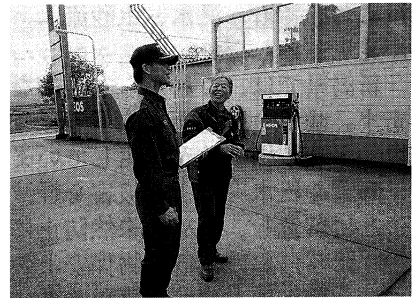
合同査察及び広報活動の取り組み

三市北蒲原地区支会では、毎年危険物安全週間に協会員と消防職員合同で危険物施設の立ち入り検査・巡回指導を実施しています。若手の消防職員が、実際に危険物に携わっているベテランの協会員の方と一緒に施設を巡回できる機会であり、消防職員にとって非常に良い勉強になっています。また、巡回先の各事業所にとりましても事故防止に対する防災意識の高揚が図れているものと期待しています。

広報活動においては、地元のFM局である「エフエムしばた」にお願いして番組中にスポット放送をしていただいております。危険物安全週間期間中のみならず、春と秋の火災予防週間中においても、1

回20秒の放送を1日5回×7日間、危険物の事故防止や火災予防の呼び掛けを実施しており、有効な防災広報活動が達成されているのではないかと考えております。

今後もより良い活動方法を考え、継続的に危険物の事故防止・火災予防活動等の取り組みに努力してまいります。



南魚沼地区支会

柏崎刈羽原子力発電所の研修視察

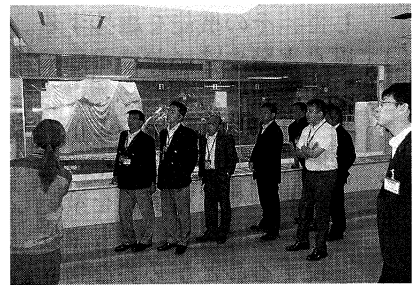
「危険物安全週間」に伴い、当地区支会では柏崎刈羽原子力発電所の研修視察を行いました。

危険物施設において火災、流出などの事故が発生すると、地域社会に与える影響は極めて大きく、そのため安全を確保することは必要不可欠です。この視察は協会員の安全に対する意識の更なる向上を目的として、昨年からは実施しています。

視察では、原子炉建屋内や体験型総合訓練棟を見させてもらいました。建屋や施設周辺にはいたる所に、地震・津波の対策がなされていました。また、体験型総合訓練棟にはバーチャルリアリティーを使

用し危険を疑似体験できる施設や、作業に潜むリスクを認識・予知・回避する能力を養う施設が設置されており、保安教育の参考になるものでした。

今回の視察をとおして、事故防止や事故が起きた際の対応等、安全に対する意識を高めることができたと思います。



油の流出事故を防止しましょう！

県からのお願い

県内では、灯油や重油などが河川等に流出する「油流出事故」が毎年、200件以上発生しています。

事業場に設置される貯油タンクやその配管の破損、油水分離槽の管理不徹底などを原因とする事故も多く通報されています。

落雪が灯油タンクの開閉レバーに当たり、不意に灯油を流出させた例もあります。

油流出事故は、油の河川への流出や地下への浸透により、環境汚染のほか火災の危険、水道取水の停止、農業被害などが発生するおそれ

があり、原因者は、その対策費用を求められることがあります。

左の事項に注意し、油の流出事故を防止しましょう。

暖房を使う冬は灯油の流出事故が多発します
原因の第1位は、ホームタンクからの小分け中に
うっかりその場を離れるなどの不注意です

小分け中!
2分間、注ぎ口を
見守ります!!

油流出事故は環境汚染などのおそれがあります
ホームタンクに貼って油流出を防止しましょう!

注意事項

- 1 貯油タンク、配管の点検を定期的に行い、故障や破損などがあった場合は、適切に修理する。
- 2 積雪や落雪、除雪により貯油タンクや配管が破損しないように注意する。
- 3 防油堤の点検管理を適切に行う。
<ひび割れの点検、水抜きバルブの管理など>
- 4 油水分離槽の維持管理を適切に行う。
<定期的な清掃を行うなど>
- 5 油が流出したら、適切に応急措置を行い、消防、市町村または県（環境センター）に連絡する。

平成30年度第2回地区支会事務局会議開催

平成30年12月7日(金)に、新潟市新光町「トラック総合会館」において、県防災局消防課西潟良成副参事のご参加をいただいて開催しました。

会議の冒頭、小林純男理事長が、今日の会議は今年度の協会業務の実施状況及び来年度の事業計画等の説明となっているので忌憚のないご意見をいただき、協会と地区支会・地区協会の意思疎通を図っていききたい旨、挨拶いたしました。

西潟氏からは、地区支会・地区協会の皆様に講師をお願いしている保安講習は危険物取扱者に直接指導・助言が出来る重要な機会であり、また、事業所への危険物事故の防止の働きかけの場としても活用していただきたいこと、危険物の事故防止については皆様と情報共有を密にし、ご意見・ご要望を踏まえて推進したいと考えている旨のご挨拶をいただきました。

会議では、平成30年度の協会業務が地区支会・地区協会のご協力もあり順調に進んでいることを報告すると共に、受験準備講習、保安講習の平成31年度の実施方針、各種表彰事業の留意点等について説明しました。

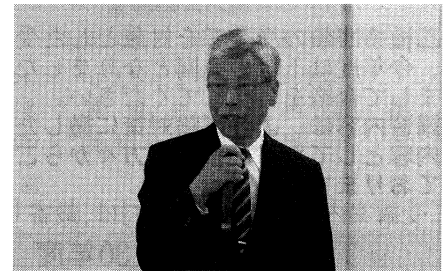
来年度の事業計画等につきましては了承されましたので、理事会の承認を得て参ります。

○ 受験準備講習

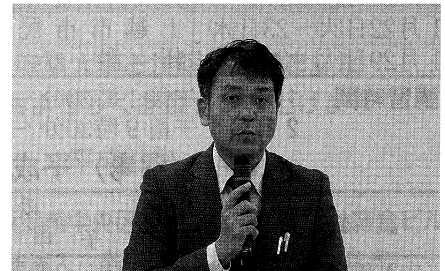
平成31年度の開催計画は、平成30年度と同等とし、開催回数は15回を維持し、1日講習、土日開催、夏休み中開催も継続する予定です。

○ 保安講習

平成31年度の開催計画は、平成30年度と日程、会場とも、概ね今年度同様の計画で、3年周期開催の地区も従来どおりですが、上越市開催では30年度と同様にコンビナート講習を4回実施する予定です。



小林理事長



西潟副参事



会場全景

受験準備講習会に参加しませんか!!

～お申し込みは便利なインターネット受付で～

乙種第四類試験の受験準備講習会は、3月2日にある試験に向けて1月に3会場で開催いたしますので、奮ってご参加ください。(詳細はP8参照)

講習内容等については、平成30年12月12日(水)に開催した、「企業・専任講師会議」で講義方法等についても検討を行いました。講習会で行っておりますアンケート調査結果で最も重要である「受験勉強の参考となるよい講習会」だったかどうかについて、93%の方から「よかった」という評価をいただくなど、多くの受講者からご好評をいただいております。

講習会では、試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを使用した視覚資料も利用しており、受講者にとって解りやすい講習会としております。今後とも、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置いたメリハリのある講習としていきます。

講習会への参加、資格の取得は従業員のスキルアップにもなりますので、是非受講をご検討ください。また、インターネットでの受付も行っておりますので、ご利用ください。

平成30年8月1日付発行の「危険物の事故事例(75)」の訂正について

5ページの事例5に次のとおり誤りがありましたので、訂正するとともにお詫びします。

| | |
|------|--|
| 事故概要 | 誤 吐出量2,000リットルで |
| | 正 充填の一般取扱所において、吐出量2,000リットルで |
| 事故原因 | 誤 注油ノズルが横向きになるように注油口の蓋を利用して固定したため、注油ノズルのオートストップ機能も作動しなかった。 |
| | 正 削除 |

合格への近道 受験準備講習会のお知らせ

乙種第四類の受験者を対象とした受験準備講習会は、今年度は下記の3回となりました。是非参加されまして合格を目指してください。

講習内容は、より試験対策に徹した、要点を絞った内容としており、多くの方々からご好評をいただいております。

「受講案内」や「受講申込書」は、最寄りの消防本部・

消防署、各地区支会・地区協会事務局、当協会に用意してあります。受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけますし、インターネットでも申し込むことができます。(申込受付期間経過後でも定員に達していなければ受講できます。当協会へお問い合わせ下さい。)

平成30年度 最終の乙種第四類受験準備講習会日程

| 講習日 | 講習会場 | 定員 | 申込受付期間 | 講習会場所在地 |
|-----------------|------------|-----|--------------|----------------|
| 1月16日(水)～17日(木) | 長岡新産管理センター | 80 | 12月19日～1月9日 | 長岡市新産2-1-4 |
| 1月22日(火)～23日(水) | 上越市市民プラザ | 100 | 12月25日～1月15日 | 上越市土橋1914-3 |
| 1月29日(火)～30日(水) | 新潟テルサ | 100 | 12月28日～1月22日 | 新潟市中央区鐘木185-18 |

講習時間 1日目：午後1時30分～午後4時30分 (物理/化学)
2日目：午前9時30分～午後4時30分 (燃焼消火/性質等、関係法令)

〈参考〉平成30年度 最終の危険物取扱者試験日程

| 試験日 | 受付期間 | | 試験の種類 | 試験実施地 |
|--------------|------------------|-------------------|-------|-------------|
| | 電子申請 | 書面申請 | | |
| 平成31年3月2日(土) | 1月8日(火)～1月22日(火) | 1月11日(金)～1月25日(金) | 全種類 | 新潟市、長岡市、上越市 |

(注) 試験のお申し込みは、(一財)消防試験研究センター新潟県支部です。(☎025-285-7774)

平成31年度 当初の乙種第四類受験準備講習会の計画 (案)

平成31年度当初の受験準備講習は、下記のとおり予定しております。

日程、申込受付期間が変更となる場合もあります

ので、詳しくは、3月下旬に発行する平成31年度の「受験準備講習会受講案内」や当協会のホームページをご覧ください。

| 講習日 | 講習会場 | 定員 | 申込受付期間 | 講習会場所在地 |
|-----------------|--------------|-----|------------|----------------|
| 4月18日(木)～19日(金) | アミューズメント佐渡 | 50 | 4月1日～4月11日 | 佐渡市中原234-1 |
| 4月18日(木)～19日(金) | 新潟テルサ | 60 | 4月1日～4月11日 | 新潟市中央区鐘木185-18 |
| 4月22日(月)～23日(火) | 上越市市民プラザ | 100 | 4月1日～4月15日 | 上越市土橋1914-3 |
| 4月24日(水)★1日講習 | 長岡新産管理センター | 80 | 4月1日～4月17日 | 長岡市新産2-1-4 |
| 4月25日(木)～26日(金) | 新発田市生涯学習センター | 48 | 4月1日～4月18日 | 新発田市中央町5-8-47 |

〈参考〉平成31年度 最初の危険物取扱者試験日程

| 試験日 | 受付期間 | | 試験の種類 | 試験実施地 |
|--------------|------------------|-------------------|-------|----------------------|
| | 電子申請 | 書面申請 | | |
| 平成31年6月1日(土) | 4月9日(火)～4月23日(火) | 4月12日(金)～4月26日(金) | 全種類 | 新潟市、長岡市、上越市、新発田市、佐渡市 |

保安講習会のお知らせ

保安講習会の開催は、今年度は下記の講習会のみとなりました。受講義務のある方は、忘れずに受講してください。

「受講案内」や「危険物取扱者保安講習受講申請書」は、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区

協会事務局、当協会に用意してあります。また受講案内は当協会のホームページでもご覧いただけます。

詳しくは、当協会、最寄りの消防本部・消防署、各地区支会・地区協会事務局又は県庁消防課にお問い合わせください。

平成30年度 最終の危険物取扱者保安講習日程

| 講習日 | 講習会場 | 講習種別 ※ | | | 定員 | 受講申請受付期間 | 講習会場所在地 |
|----------|-------|---------|-------|------|------|------------|----------------|
| | | 一般(その他) | 給油取扱所 | コンビニ | | | |
| 2月13日(水) | 新潟テルサ | 午前 | | | 140 | 1月9日～1月23日 | 新潟市中央区鐘木185-18 |
| | | 午後 | | | 140 | | |
| 2月14日(木) | | 午前 | | 午後 | 各140 | | |

※講習時間等 <午前の講習> 受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分
<午後の講習> 受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

保安講習、受験準備講習とも定員に余裕がある場合は、受付期間終了後でも受け付けます。協会ホームページの受付状況をご覧になるか、当協会へお問い合わせください。